

大阪市立自然史博物館新館天井改修その他工事

特記仕様書

(建築工事)

地方独立行政法人大阪市博物館機構

地方独立行政法人大阪市博物館機構 建築工事 特記仕様書

総則

I. 共通事項

1. 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、下記の■の仕様書による。
 - 「公共建築工事標準仕様書(28年版)国土交通省大臣官房官庁営繕部監修」(以下、「標仕」という。)
 - 「公共建築改修工事標準仕様書(28年版)国土交通省大臣官房官庁営繕部監修」(以下、「標改仕」という。)
 - 「建築物解体工事共通仕様書(24年版)国土交通省大臣官房官庁営繕部監修」(以下、「解共仕」という。)
 - 「吹付けアスベスト等粉じん飛散防止処理工事仕様書(平成30年版)大阪市都市整備局監修」(以下、「アスベスト仕様書」という。)
 - 「公共住宅建設工事共通仕様書(22年度版)公共住宅事業者等連絡協議会編集」(以下、「公住仕」という。)
2. 本工事に電気設備工事及び機械設備工事等を包含する場合、それぞれの工事標準仕様書(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)を適用する。
3. 建築基準法、消防法等の関係法令に基づく官公署その他の関係機関の検査においては、その検査に必要な資機材、労務、資料等を提供すること。

II. 特記事項

1. 項目は、■の付いたものを適用し、□は適用しない。
2. 特記事項は■の付いたものをすべて適用し、□は適用しない。
3. 本仕様書内の [] 内記載番号は下記による。
 - [標○.○.○] 内の表示番号は、標仕の当該項目・図または表を示す。
 - [改○.○.○] 内の表示番号は、標改仕の当該項目・図または表を示す。
 - [解○.○.○] 内の表示番号は、解共仕の当該項目・図または表を示す。
 - [ア○.○.○] 内の表示番号は、アスベスト仕様書の当該項目・図または表を示す。
 - [住○.○.○] 内の表示番号は、公住仕の当該項目・図または表を示す。

III. 一般材料

1. 特記事項に記載された材料品名、品番等については品質の程度を示すものであり、使用にあたっては監督職員が同等と認めたものを使用する。

IV. 委託監督員に関する事項

1. 監督職員に準ずるものとする。

V. 施工中の安全確保

1. 同一現場で別契約の関連工事が行われる場合で、監督職員により労働安全衛生法に基づく指名を受けたときは、同法に基づく必要な措置を講ずること。

VI. 火災保険等について

1. 工事請負契約書第48条第1項に基づく火災保険等については、「工事請負契約に関する提出書類一覧表(大阪市都市整備局)」に記載の「建築工事及び建築設備工事に必要な火災保険等について」による。

- 8. 施工条件[標1.3.5][改1.3.5][解1.3.5]
 ■ 施工手順 図示 (図示以外監督職員及び施設責任者との協議による。)
 ■ 施工時間 図示 (図示以外監督職員及び施設責任者との協議による。)
 ■ 現場管理
 現場代理人及び作業員は、施工業者指定の腕章等を着用すること。
 ■ 工事説明
 工事着手に先立ち、監督職員と打合せの上、工事説明会を行う。
 ■ 建物管理者入居者への連絡
 足場架組み、室内作業、その他、監督職員の指示する作業については、事前に建物管理者・入居者へ連絡すること。
 ■ その他 図示 ()
- 9. 発生材の処理等[標1.3.11][改1.3.12][解1.3.10]
 引渡しを要するもの
 引渡物品 図示 ()
 引渡場所 図示 ()
 特別管理産業廃棄物の有無及び処理方法
 品名 図示 ()
 処理方法 図示 ()
 ■ 発生材のうち再資源化(再生処理)を図るもの
 ■ コンクリート塊、アスファルト塊
 上記以外については関係法令に基づき適正に処分すること。
- 10. 建設副産物対策の取組み
 大阪市建設リサイクルガイドライン
 本工事にあたっては、「大阪市建設リサイクルガイドライン」の記載事項を遵守して、建設副産物の適正な処理及び再生資源の活用を図ること。
 なお、本ガイドラインは、大阪市ホームページを参照すること。
- 11. 排ガス対策型建設機械の使用
 本工事においては、「道路運送車両法」及び「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律(オフロード法)」を遵守するとともに、各法律の対象外となる「エンジン出力が8～19kWの小型建設機械」、「発動発電機や空気圧縮機等の可搬式建設機械」及び「オフロード法施行前の既生産車」を使用する場合は、「排出ガス対策型建設機械(第3次基準)指定制度」に基づき指定された排出ガス対策建設機械を使用するものとする。
- 12. 既存部への処置[改1.3.13]
 工事施工に際し、既存部分を汚染又は破損した場合は、監督職員に報告するとともに承認を受けて現状に準じて補修する。

■ 13. 環境への配慮[標1.4.1][改1.4.1]

□ 「大阪市グリーン調達方針」について

本工事において下記表の品目を使用する場合は、「大阪市グリーン調達方針」の判断基準に適合するものを使用する。

なお、「大阪グリーン調達方針」は、大阪市ホームページを参照すること。

分類	品目	除外する部位等
盛土材・埋戻し材等	建設汚泥再生処理土	
	土工用水砕スラグ	
	下水汚泥溶融スラグ混合改良土	
地盤改良材	地盤改良用鋼製スラグ	
コンクリート用スラグ骨材	高炉スラグ骨材	
アスファルト混合物	再生加熱アスファルト混合物	
路盤・地業材	鉄鋼スラグ混入路盤材	
	再生骨材（再生クラッシュラン等）	
混合セメント	高炉セメント（基礎・地中梁）	
	高炉セメント（上記以外）	
コンクリート及び コンクリート製品	透水性コンクリート	
	下水汚泥溶融スラグ使用捨てコンクリート	
塗料	下塗用塗料（重防食）	
	高日射反射率塗料	
防水	高日射反射率防水	
舗装材	再生材料利用舗装用ブロック（焼成）	
	再生材料利用舗装用ブロック（プレキャスト無筋コンクリート製品）	
園芸資材	バークたい肥	
	下水汚泥コンポスト	
	浄水汚泥改良園芸用土	
タイル	陶磁器質タイル	
建具	断熱サッシ・ドア	
製材等	製材	
	集成材	
	合板	
	単板積層材	
フローリング	フローリング	
再生木質ボード	パーティクルボード	
	繊維板	
	木質系セメント板	
ビニル系床材	ビニル系床材	
断熱材	断熱材	
配管材	排水用再生硬質ポリ塩化ビニル管	
コンクリート用型枠	再生材利用型枠	
	合板型枠	
建設機械	排出ガス対策型建設機械	
	低騒音型建設機械	
舗装	排水性舗装	
	透水性舗装	
屋上緑化	屋上緑化	

- 本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能等を有するものとし次の■を満たすものとする。
 - I. 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発生が極めて少ないものとする。
 - II. 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒドを発生しないか、発生が極めて少ないものとする。
 - III. 接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発生が極めて少ないものとする。
 - IV. 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発生が極めて少ないものとする。
 - V. I、III及びIVの建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等はホルムアルデヒドを発生しないか、発生が極めて少ないものとする。
 - VI. 室内に面する建築材料（天井裏含む）は、I～Vに記載の化学物質に加え、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼンを発生しないか、発生が極めて少ないものとする。

- 設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は次の通りとする。

- 規制対象外

- I. JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品
- II. 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品
- III. 下記表示のあるJAS規格品
 - ① 非ホルムアルデヒド系接着剤使用
 - ② 接着剤等不使用
 - ③ 非ホルムアルデヒド系接着剤使用及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用
 - ④ ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用
 - ⑤ 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用
 - ⑥ 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用

- 第三種

- I. JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品
- II. 建築基準法施行令第20条の7第3項による国土交通大臣認定品
- III. 旧JIS規格のE○規格品
- IV. 旧JAS規格のF c o規格品

居室の内装材にあつては、ホルムアルデヒド放散量（JAS規格による測定方法）が平均値で0.3mg/L以下かつ最大値で0.4mg/Lであること。

- アスベスト含有建材

本工事に使用する材料については、[標1.3.10(b)]に準じて、安全データシート（SDS）等により確認を行い、アスベスト含有建材を使用しない。

- 14. 建築材料[標1.4.2][改1.4.2]

本工事に使用する材料は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマーク表示のない材料及びその製造業者は、次のIからVIの事項を満たすものとする。

- I. 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。
- II. 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。
- III. 安定的な供給が可能であること。
- IV. 法律で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること。
- V. 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
- VI. 販売、保守等の営業体制が整えられていること。

なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関（（一社）公共建築協会他）が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。

□ 15. 技能士[標1.5.2][改1.6.2]

新営等工事	
工事種目（職種）	技能検定作業
<input type="checkbox"/> 仮設工事	<input type="checkbox"/> とび作業
<input type="checkbox"/> 鉄筋工事	<input checked="" type="checkbox"/> 鉄筋組立て作業
<input type="checkbox"/> コンクリート工事	<input checked="" type="checkbox"/> 型枠工事作業 <input type="checkbox"/> 左官作業 <input checked="" type="checkbox"/> コンクリート圧送工事作業
<input type="checkbox"/> 鉄骨工事	<input type="checkbox"/> 構造物鉄工作業 <input type="checkbox"/> とび作業
<input type="checkbox"/> ブロック及びALC [®] 補工事	<input type="checkbox"/> コンクリートブロック工事作業 <input type="checkbox"/> エーエルシー [®] 補工事作業
<input type="checkbox"/> 防水工事	<input type="checkbox"/> アスファルト防水工事作業 <input type="checkbox"/> ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 <input type="checkbox"/> アクリルゴム系塗膜防水工事作業 <input type="checkbox"/> 合成ゴム系シート防水工事作業 <input type="checkbox"/> 塩化ビニル系シート防水工事作業 <input type="checkbox"/> セメント系防水工事作業 <input type="checkbox"/> シーリング防水工事作業 <input type="checkbox"/> FRP防水工事作業 <input type="checkbox"/> 改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業
<input type="checkbox"/> 石工事	<input type="checkbox"/> 石張り作業
<input type="checkbox"/> タイル工事	<input type="checkbox"/> タイル張り作業
<input type="checkbox"/> 木工事	<input type="checkbox"/> 大工工事作業
<input type="checkbox"/> 屋根及び樋工事	<input type="checkbox"/> 内外装板金作業 <input type="checkbox"/> かわら葺き作業
<input type="checkbox"/> 金属工事	<input type="checkbox"/> 鋼製下地工事作業 <input type="checkbox"/> 内外装板金作業
<input type="checkbox"/> 左官工事	<input type="checkbox"/> 左官作業
<input type="checkbox"/> 塗装工事	<input type="checkbox"/> 建築塗装作業
<input type="checkbox"/> 建具工事	<input type="checkbox"/> ビル用サッシ施工作業 <input type="checkbox"/> ガラス工事作業 <input type="checkbox"/> 自動ドア施工作業
<input type="checkbox"/> カーテンウォール工事	<input type="checkbox"/> 金属製カーテンウォール工事作業 <input type="checkbox"/> ビル用サッシ施工作業 <input type="checkbox"/> ガラス工事作業
<input type="checkbox"/> 内装工事	<input type="checkbox"/> プラスチック系床仕上げ工事作業 <input type="checkbox"/> 壁装作業 <input type="checkbox"/> ボード仕上げ工事作業 <input type="checkbox"/> カーペット系床仕上げ工事作業
<input type="checkbox"/> 排水工事	<input type="checkbox"/> 建築配管作業
<input type="checkbox"/> 舗装工事	<input type="checkbox"/> 溶融 [®] イントハンド [®] マーカー工事作業 <input type="checkbox"/> 加熱 [®] イントマシン [®] マーカー工事作業
<input type="checkbox"/> 植栽工事	<input type="checkbox"/> 造園工事作業

改修工事	
工事種目（職種）	技能検定作業
<input type="checkbox"/> 防水改修工事	<input type="checkbox"/> アスファルト防水工事作業 <input type="checkbox"/> ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 <input type="checkbox"/> アクリルゴム系塗膜防水工事作業 <input type="checkbox"/> 合成ゴム系シート防水工事作業 <input type="checkbox"/> 塩化ビニル系シート防水工事作業 <input type="checkbox"/> セメント系防水工事作業 <input type="checkbox"/> シーリング防水工事作業 <input type="checkbox"/> FRP防水工事作業 <input type="checkbox"/> 改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業 <input type="checkbox"/> 内外装板金作業
<input type="checkbox"/> 外壁改修工事	<input type="checkbox"/> 樹脂接着剤注入工事作業 <input type="checkbox"/> 左官作業 <input type="checkbox"/> タイル張り作業
<input type="checkbox"/> 建具改修工事	<input type="checkbox"/> ビル用サッシ施工作業 <input type="checkbox"/> ガラス工事作業 <input type="checkbox"/> 自動ドア施工作業
<input type="checkbox"/> 内装改修工事	<input type="checkbox"/> 大工工事作業 <input type="checkbox"/> 鋼製下地工事作業 <input type="checkbox"/> 内外装板金作業 <input type="checkbox"/> プラスチック系床仕上工事作業 <input type="checkbox"/> 壁装作業 <input type="checkbox"/> カーペット系床仕上げ工事作業 <input type="checkbox"/> 左官作業 <input type="checkbox"/> ボード仕上げ工事作業 <input type="checkbox"/> タイル張り作業
<input type="checkbox"/> 塗装改修工事	<input type="checkbox"/> 建築塗装作業
<input type="checkbox"/> 耐震改修工事	<input type="checkbox"/> 鉄筋組立て作業 <input type="checkbox"/> 型枠工事作業 <input type="checkbox"/> 構造物鉄工作業 <input type="checkbox"/> コンクリート圧送工事作業 <input type="checkbox"/> とび作業
<input type="checkbox"/> 環境配慮改修工事	<input type="checkbox"/> 建築配管作業 <input type="checkbox"/> 溶融 [®] ペイントハンド [®] マーカー工事作業 <input type="checkbox"/> 加熱 [®] ペイントマシン [®] マーカー工事作業 <input type="checkbox"/> 造園工事作業

■ 16. 化学物質の室内濃度測定[標1.5.9][改1.6.9]

室内空气中化学物質の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針以下であることを確認し、監督職員に報告書を提出すること。測定要領等は「化学物質の室内濃度測定仕様書」による。 ※測定結果については特急分析にて報告を行うこと。

対象室名	新営		計	室
	改修	ネイチャーホール	計	1 室
採取方法	<input checked="" type="checkbox"/> 拡散方式（パッシブ法） <input type="checkbox"/> 吸引方式（アクティブ法）			
測定物質	<input checked="" type="checkbox"/> ホルムアルデヒド [®] 、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼン <input type="checkbox"/> ホルムアルデヒド [®] 、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼン、アセトアルデヒド [®] <input type="checkbox"/>			
測定回数	<input type="checkbox"/> 新営工事 対象室 1回 <input checked="" type="checkbox"/> 改修工事 <input checked="" type="checkbox"/> 対象室 事前・事後 各1回 <input type="checkbox"/> 対象室 事後 1回			

- 17. 完成時の提出図書[標1.7.1][標1.7.2][標1.7.3][標表1.7.1][改1.8.2][改表1.8.1]
 完成図等（保全に関する資料を含む）の提出 要 不要
 完成図の種類

- 附近見取図、配置図、各階平面図、各立面図、断面図、仕上表、埋設管図
 設計図書と同等のもので監督職員の指示する事項を記載したもの
 完成図の縮尺は原則1/300とし、埋設管の位置は外壁面からの寸法で表し、深さは現
 状GLからの深さとする。なお、原図はCADを用いて作成すること。
 提出物及び提出部数

提出物	提出部数
原図のデータ (CD-R) ※	1部
出力図 (A3版背張り製本)	<input checked="" type="checkbox"/> 2部 <input type="checkbox"/> () 部
出力図 (A1カラー埋設配管図)	<input checked="" type="checkbox"/> 3部 <input type="checkbox"/> () 部

※原図のデータは、作成した図面の「作成CADソフトのオリジナル形式データ」
 + 「SXF形式データ」+ 「JWW形式データ」+ 「PDF形式データ」をCD-Rに
 格納し提出すること。

- 18. 施工図[標1.7.2][改1.8.2]
 工事完成後は、監督職員の指示する施工図の原図及びその陽面複写（1部）を製本の
 上、監督職員に提出する。
 監督職員の指示による 提出する 提出しない

- 19. 責任施工保証期限
 防水、シーリング材、吹付け材等は、責任施工とし、保証期限は下記の通りとする。

期間	保証対象
10年	アスファルト防水（屋外） 改質アスファルトシート防水
	合成分子系ルーフィングシート防水 複層仕上塗材（吹付け）
5年	アスファルト防水（屋内） 塗膜防水 弾性シーリング
	薄付け仕上塗材（吹付け） アンカーピンニング注入工法
	エポキシ樹脂注入工法 Uカットシーリング充填工法
	ユニットバス（シーリング含む） 防水パン
3年	ウレタン樹脂塗床材

その他

期間	保証対象

- 20. 労働安全衛生法第30条2項の指名について
 労働安全衛生法第30条2項の規定に基づき、本工事受注者を同条第1項に規定する
 措置を講ずべき者として指名する。

- 21. その他
 受注者は引渡し日から2年以内に本市がかし点検を行う場合は立会いをすること。
 近隣家屋等事前調査
 工事現場に隣接した家屋等の事前調査について、調査範囲は図示による。また、調査
 要領等は「近隣家屋等事前調査仕様書」による。
 特別な材料の工法
 標仕及び標改仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定
 する工法とする。
 過積載防止対策については、「過積載防止対策要領」による。また「過積載防止対策
 要領」は、大阪市都市整備局ホームページを参照すること。
 地質調査採取資料及び報告書は、完成時に長居公園内大阪市立自然史博物館第4研究
 所（TEL: 06-6697-6221）へ搬入すること。
 階段（敷地の段差を解消するための階段を含む）の仕上げについて、段鼻は踏面及び
 けあげと、同調、明度を区別できるものとする。（大阪府福祉のまちづくり条例等参照）
 提出書類
 工事写真、材料出荷証明書等、監督職員の指示するものを提出すること。
 工事完成時の提出書類は、ダンボール箱（A4B4版）に収納し提出すること。

- 22. 設計GL
 図面番号 No. による。
 現状地盤の平均高さとし、監督職員の指示による。

- 23. 施工数量調査および調査のための破壊部分の補修[改1.5.2][改1.5.3][解共1.4.2]
 調査範囲及び調査方法 図示
 破壊部分の補修 現状復旧する 図示

□ 10. 仮設間仕切り [改2. 3. 2]

図示 (仮設間仕切り等の種別については、下表による)

種別	下地	仕上材 (厚さ:mm)	充填材	塗装
<input checked="" type="checkbox"/> A種	<input checked="" type="checkbox"/> 軽量鉄骨	<input type="checkbox"/> 合板 <input checked="" type="checkbox"/> 9.0 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> グラスウール32kg t50	<input type="checkbox"/> 無
<input type="checkbox"/> B種	<input type="checkbox"/> 木下地	<input checked="" type="checkbox"/> PB <input type="checkbox"/> 9.5 <input checked="" type="checkbox"/> 12.5×2	<input checked="" type="checkbox"/> 無	<input checked="" type="checkbox"/> 片面
<input type="checkbox"/> C種	単管下地	防炎シート		

<input checked="" type="checkbox"/> 仮設扉	<input checked="" type="checkbox"/> 木製扉 <input type="checkbox"/> 鋼製扉	<input checked="" type="checkbox"/> 合板張り程度 <input type="checkbox"/> 片面フラッシュ程度	塗装 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	南京錠 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
---	---	--	--	---

(改) 3章 防水改修工事

- 1. 一般事項[改3.1.3]
降雨等に対する養生 ■ [改3.1.3](e)による □ 図示
- 2. 既存防水層の処理[改3.2.2] [改3.2.6] [改3.3.2] [改3.4.2] [改3.5.2]
既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 ■ 図示
架台回り等の欠損部の納まり部及び防水層末端部の納まり部 ■ 図示
- 3. アスファルト防水
材料 [改3.3.2]
改質アスファルトルーフィングシートの種別及び厚さ
■ 改表3.3.3～改表3.3.9による
□ 図示
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種別及び厚さ
■ 改表3.3.3～改表3.3.9による
□ 図示
押え金物の材質及び形状寸法 ■ アルミ製L-30x15x2.0程度 □ 図示
屋根保護防水断熱工法に用いる断熱材の材質及び厚さ
JIS A 9521(建築用断熱材) ■ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種 b A (スキン層付き)
□ 図示
JIS A 9511(発泡プラスチック保温材)の同等品も可とする。
断熱材の厚さ ■ 図示 □ mm
屋根露出防水断熱工法に用いる断熱材の材質及び厚さ
JIS A 9521(建築用断熱材) ■ 硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号
□ 図示
JIS A 9511(発泡プラスチック保温材)の同用品も可とする。
断熱材の厚さ ■ 図示 □ mm
絶縁用シート ■ 断熱材を含まない工法の場合はポリエチレンフィルム厚0.15mm以上
断熱材を含む工法の場合はフラットヤンクロス(70g/m²程度)
□ 発泡ポリエチレンシート □

□ 屋根保護防水 [改3.3.3] [改表3.3.3] ～ [改表3.3.6]

工法	種別	立上り部保護の適用
□ P1B工法	□ B-1 ■ B-2 □ B-3	□ 乾式保護材 (図示)
□ P1BI工法	□ BI-1 ■ BI-2 □ BI-3	□ れんが押え ■ JISR1250 (普通れんが [®] 及び化粧れんが [®]) □ 市販品のれんが又は市販品れんが形 □ コンクリートブロック (見え隠れ部)
□ T1BI工法	□ BI-1 ■ BI-2 □ BI-3	□ モルタル押え(図示)
□ P2AI工法	□ AI-1 ■ AI-2 □ AI-3	□ コンクリート押え(図示)
□ P2A工法	□ A-1 ■ A-2 □ A-3	□ なし

保護コンクリートの厚さ、仕様については「12.その他」による。

- 屋上排水溝 ■ 図示 □

□ 屋根露出防水 [改3.2.5] [改3.3.3] [改表3.3.7] [改表3.3.8]

工法	種別	改修用トレン を設置する	脱気装置を 設置	既存表面の 仕上げ塗装 を除去	仕上塗料の 種類等※
<input type="checkbox"/> M4C工法	<input type="checkbox"/> C-1 <input checked="" type="checkbox"/> C-2 <input type="checkbox"/> C-3 <input type="checkbox"/> C-4	/	/	<input type="checkbox"/>	種類 <input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D
<input type="checkbox"/> M3D工法	<input type="checkbox"/> D-1 <input checked="" type="checkbox"/> D-2 <input type="checkbox"/> D-3 <input type="checkbox"/> D-4	/	<input type="checkbox"/>	/	
<input type="checkbox"/> POD工法	<input type="checkbox"/> D-1 <input checked="" type="checkbox"/> D-2 <input type="checkbox"/> D-3 <input type="checkbox"/> D-4	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	/	
<input type="checkbox"/> PODI工法	<input type="checkbox"/> DI-1 <input checked="" type="checkbox"/> DI-2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	/	
<input type="checkbox"/> M3DI工法	<input type="checkbox"/> DI-1 <input checked="" type="checkbox"/> DI-2	/	<input type="checkbox"/>	/	
<input type="checkbox"/> M4DI工法	<input type="checkbox"/> DI-1 <input checked="" type="checkbox"/> DI-2	/	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

※ 本章において共通の凡例とする。
 仕上塗料の種類
 A：保護塗料 C：耐候性塗料 D：
 仕上塗料の使用量 ■ 製造所の仕様による。
 脱気装置の数量 □ 図示 ■ ルーフイング類製造所の指定
 脱気装置の種類 □ SUS製 □ 樹脂製 ■ ルーフイング類製造所の指定
 ルフトレ回り及び立上り部周辺断熱材の張りじまい位置 [改3.3.4] (d)(2)(vii)
 ■ 図示 □

□ 屋上排水溝 ■ 図示 □

□ 屋内防水 [改3.3.3] [改表3.3.10]

工 法	種別	保護層の新 設	立上り部保護の適用
<input type="checkbox"/> P1E工法	<input type="checkbox"/> E-1 <input checked="" type="checkbox"/> E-2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 乾式保護材（図示） <input type="checkbox"/> れんが押え
<input type="checkbox"/> P2E工法	<input type="checkbox"/> E-1 <input checked="" type="checkbox"/> E-2	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> JISR1250（普通れんが及び化粧れんが） <input type="checkbox"/> 市販品のれんが又は市販品れんが形 <input type="checkbox"/> コンクリートブロック（見え隠れ部） <input type="checkbox"/> モルタル押え <input type="checkbox"/> コンクリート押え □ なし

保護コンクリートの厚さ、仕様については「12.その他」による。

- 4. 改質アスファルトシート防水[改3.2.5][改3.2.6] [改3.4.1] ~ [改3.4.4]
 [改表3.4.1] [改表3.4.2] [改表3.4.3]
 材料 [改3.4.2]

改質アスファルトシートの種別及び厚さ

■ 改表3.4.1 ~ 改表3.4.3による

□ 図示

粘着層付改質アスファルトシートの種別及び厚さ

■ 改表3.4.1 ~ 改表3.4.3による

□ 図示

屋根露出防水断熱工法に用いる断熱材の材質及び厚さ

JIS A 9521(建築用断熱材) ■ 硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号 □ 図示

JIS A 9511(発泡プラスチック保温材)の同用品も可とする。

断熱材の厚さ ■ 図示 □ mm

工 法	種別	既存表面 の仕上げ	脱気装置 を設置	改修用ドレ ンを設置	防湿層 の設置	仕上塗料の 種類等※
□ M4AS工法	□ AS-T1 □ AS-T2 □ AS-J2	□	/	/	/	種類 □ A □ B □ C □ D
□ M3AS工法	□ AS-T3 □ AS-T4 □ AS-J1 □ AS-J3	/	□	/	/	
□ POAS工法	□ AS-T3 □ AS-T4 □ AS-J1 □ AS-J3	/	□	□	/	
□ M3ASI工法	□ ASI-T1 □ ASI-J1	/	□	/	□	
□ M4ASI工法	□ ASI-T1 □ ASI-J1	□	□	/	□	
□ POASI工法	□ ASI-T1 □ ASI-J1	/	□	□	□	
※仕上塗料の種類等についての凡例は「3.アスファルト防水」「屋根露出防水」表中の凡例による。						

脱気装置の数量 □ 図示

■ ルーフィング類製造所の指定

脱気装置の種類 □ SUS製

□ 樹脂製

■ ルーフィング類製造所の指定

■ 5. 合成高分子系ルーフィングシート防水

[改表3.1.1] [改3.2.5] [改3.5.1]～[改3.5.4] [改表3.5.1]～[改表3.5.3]

材料 [改3.5.2]

ルーフィングシートの種類及び厚さ ■ 改表3.5.1～改標表3.5.3による

□ 図示

絶縁用シート ■ 発泡ポリエチレンシート □

固定金具の材質及び寸法形状

■ [改3.5.2](c)(2)による □ 図示

断熱工法に用いる断熱材の材質及び厚さ

JIS A 9521(建築用断熱材) □ 硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号

□ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材1種b、2種b、3種b

□ 図示

JIS A 9511(発泡プラスチック保温材)の同用品も可とする。

断熱材の厚さ ■ 図示 □ mm

工法	種別	シート厚さ(mm)	改修用ドリルを設置	脱気装置を設置	既存防水層(立上り部)の撤去	仕上塗料の種類等※
□ POS工法	□ S(I)-F1	■ 1.2 □	□	□	■	種類 □ A □ B □ C □ D
□ POSI工法	■ S(I)-F2	□ 2 ■ 1.5	□	□	■	
	□ S(I)-M1	■ 1.5 □	□	□	□	
	■ S(I)-M2	■ 1.5 □	□	□	□	
	□ S-M3	■ 1.2 □	□	□	□	
■ S4S工法	□ S(I)-F1	■ 1.2 □	/	□	■	
□ S4SI工法	■ S(I)-F2	□ 2 ■ 1.5		■	■	
	□ S(I)-M1	■ 1.5 □		□	□	
	■ S(I)-M2	■ 1.5 □		□	□	
	□ S-M3	■ 1.2 □		□	□	
□ S3S工法	□ S(I)-F1	■ 1.2 □	/	□	■	
□ S3SI工法	□ S(I)-F2	■ 2 □		□	■	
□ M4S工法	□ S(I)-M1	■ 1.5 □	/	□	□	
□ M4SI工法	■ S(I)-M2	■ 1.5 □		□	□	
	□ S-M3	■ 1.2 □		□	□	

※仕上塗料の種類等についての凡例は「3.アスファルト防水」の「屋根露出防水」表中の凡例による

■ 高日射反射率防水シート (近赤外域における日射反射率が50%以上の顔料が防水シート層自体に含有されているもの)

脱気装置の数量 □ 図示 ■ ルーフィング類製造所の指定

脱気装置の種類 ■ SUS製 □ 樹脂製 ■ ルーフィング類製造所の指定

既存保護層撤去・防水層非撤去の立上り部等の補修及び処理 (POS・POSI工法)

■ [改3.2.6](d)(3)(viii)による □ 図示

□ PCコンクリート部材下地及びALCパネル下地で種別S-C1の場合の目地処理

□ 図示 □

□ 種別S-C1の場合のALCパネル下地及びPCコンクリート部材の入隅部の増張り

□ 図示 □

□ 機械的固定における風圧力に対応した工法 ■ 製造所の指定

□ S-C1 (屋内保護密着) 工法

□ 平場の保護層

□ モルタル塗

モルタル塗厚さ □ 図示

床塗り工法 ■ [改6.15.6](b)(2)及び(3)による □ 図示

下地モルタル塗り ■ [改6.15.6](c)(1)による □ 図示

□ 保護コンクリート

保護コンクリートの厚さ、仕様については「12.その他」による。

□ 立上り部の保護

□ れんが押え

■ JISR1250 (普通れんが[®]及び化粧れんが[®])

□ 市販品のれんが又は市販品れんが形

□ コンクリートブロック (見え隠れ部)

□ モルタル塗厚さ □ 図示 ■ 7mm以下

□ 保護コンクリート

保護コンクリートの厚さ、仕様については「12.その他」による。

■ 6. 塗膜防水 [改表3.1.1] [改3.6.3] [改表3.6.1] [改表3.6.2]

工 法	種別	改修用ドレンを 設置	脱気装置を 設置	既存表面の仕上 げ塗装を除去	保護層 の設置	仕上塗料の種類等 ※
<input type="checkbox"/> POX工法	<input checked="" type="checkbox"/> X-1 <input type="checkbox"/> X-2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	種類 <input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D
<input checked="" type="checkbox"/> L4X工法	<input type="checkbox"/> X-1 <input checked="" type="checkbox"/> X-2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> P1Y工法	<input checked="" type="checkbox"/> Y-2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 図示	
<input type="checkbox"/> P2Y工法	<input checked="" type="checkbox"/> Y-2	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 図示	

※仕上塗料の種類等についての凡例は「3.アスファルト防水」の「屋根露出防水」
表中の凡例による。

脱気装置の数量 図示 主材料製造所の指定
脱気装置の種類 SUS製 樹脂製 主材料製造所の指定

■ 7. シーリング [改表3.1.2] [改3.7.2] [改表3.7.1] [改3.7.4]～[改3.7.8]

シーリング改修工法の種類
 シーリング充填工法 拡幅シーリング再充填工法
 シーリング再充填工法 ブリッジ工法 (ホントブレカー張り エッジソク材張り)
 シーリング材の種類、施工箇所、目地寸法
 種類 [改表3.7.1]による
 施工箇所 図示
 目地寸法 [改3.7.3]による
 接着性試験 簡易接着性試験 引張接着性試験

■ 8. とい [改3.8.2] [改表3.8.1] [改3.8.3] [改表3.8.2] [標表13.5.1] [標表13.5.5]

といの材種 図示
 防露材のホルムアルデヒドの放散量は、1章（一般共通事項）13項「環境への配慮」
 による。
 既存のといその他撤去及び降雨等に対する養生 図示
 鋼管製といの防露巻き（[標表13.5.5]による）
 掃除口（1系統につき1箇所以上設ける）
 とい受金物の取付（[標13.5.2.(c)]による）
 ルーフドレン取付 施工箇所 図示 [改3.8.3](h)による

□ 9. アルミニウム製笠木 [改3.9.2] [改3.9.3] [改表3.9.1] [改表5.2.2]

オープン形式	種 類	幅	板厚 (最小呼称肉厚)	表面処理	取付方法
<input type="checkbox"/> 押出300形	<input checked="" type="checkbox"/> 300mm	<input checked="" type="checkbox"/> 1.8mm	<input type="checkbox"/> B-1		
<input type="checkbox"/> 押出350形	<input checked="" type="checkbox"/> 350mm	<input checked="" type="checkbox"/> 2mm	<input type="checkbox"/> 図示		
<input type="checkbox"/> 板材折曲げ形	<input checked="" type="checkbox"/> 図示 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 図示 <input checked="" type="checkbox"/> 2mm	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 図示	
<input type="checkbox"/> シール形式	<input type="checkbox"/> 板材折曲げ形	<input checked="" type="checkbox"/> 図示 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 図示 <input checked="" type="checkbox"/> 2mm	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 図示

既存笠木等の撤去・新規アルミニウム製笠木の下地補修の工法 図示
 風圧力（H12.5.31 建告1458による計算）及び積雪荷重に対応した工法 図示

□ 10. 長尺金属板葺 [標13.2.2] [標13.2.3] [標表13.2.1]

施工箇所	<input type="checkbox"/> 図示 <input type="checkbox"/> ()
材料	長尺金属板 <input checked="" type="checkbox"/> JIS G3322 (塗装溶融55%アルミニウム亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) の屋根用コイル (<input checked="" type="checkbox"/> CGLCCR-20-AZ150 <input type="checkbox"/>) <input type="checkbox"/> JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) (<input checked="" type="checkbox"/> CGCCR-20-Z25 <input type="checkbox"/>) <input type="checkbox"/> ()
	及びコイルの種類等
	下葺材料
	<input type="checkbox"/> アスファルトフイグ [®] 940 (JIS A 6005) <input type="checkbox"/> 改質アスファルトフイグ [®] 下葺材 (JIS A 6005) (<input type="checkbox"/> 一般タイプ <input type="checkbox"/> 複層基材タイプ <input type="checkbox"/> 粘着層付タイプ)
工法	屋根葺形式 <input type="checkbox"/> 立平葺 <input type="checkbox"/> あり掛葺 <input type="checkbox"/> 心木なし瓦棒葺 <input type="checkbox"/> 横葺 <input type="checkbox"/> 図示 屋根葺工法 葺板の寸法・厚さ <input checked="" type="checkbox"/> 図示 <input type="checkbox"/> 野地板の種類、形状、強度 <input checked="" type="checkbox"/> 図示 <input type="checkbox"/> 留付け方法 <input checked="" type="checkbox"/> 図示 <input type="checkbox"/> 雪止め <input type="checkbox"/> 設ける <input type="checkbox"/> 設けない

風圧力（H12.5.31 建告1458による計算）及び積雪荷重に対応した工法 図示

□ 11. 折板葺 [標13.3.2] [標13.3.3] [標表13.2.1]

施工箇所	<input type="checkbox"/> 図示 <input type="checkbox"/> ()				
材料	形式	<input type="checkbox"/> 重ね形 <input type="checkbox"/> はぜ締め形 <input type="checkbox"/> かん合形 <input type="checkbox"/> 図示			
	折板の種類	<input checked="" type="checkbox"/> JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) <input type="checkbox"/> JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) <input type="checkbox"/> ()			
	厚さ(mm)	<input checked="" type="checkbox"/> 0.6 <input type="checkbox"/> 0.8 <input type="checkbox"/> ()			
	形状(mm)	<input type="checkbox"/> 図示 <input type="checkbox"/> 山高 () <input type="checkbox"/> 山ピッチ ()			
	耐力区分	<input type="checkbox"/> 1種 <input type="checkbox"/> 2種 <input type="checkbox"/> 3種 <input type="checkbox"/> 4種 <input type="checkbox"/> 5種			
	軒先面戸板	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし			

□ 断熱材張り 種類 : ()
 厚さ : () mm
 防火性能: 30分 なし

風圧力 (H12.5.31 建告1458による計算) 及び積雪荷重に対応した工法 図示

□ 12. その他 [改8.9.1]~[改8.9.4]、[改3.3.2][改8.11.1]

保護コンクリートの種類 普通コンクリート 軽量コンクリート

保護コンクリートの仕様

普通コンクリート

設計基準強度Fc (N/mm ²)	スランプ (cm)	単位水量の最大値 (kg/m ³)	水セメント比の最大値 (%)	気乾単位容積質量 (t/m ³)	備考
<input checked="" type="checkbox"/> 18 <input type="checkbox"/> 21	<input type="checkbox"/> 15	<input type="checkbox"/> 185	<input type="checkbox"/> 60	<input type="checkbox"/> 2.3程度	
<input type="checkbox"/> 24 <input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 18	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 65	<input type="checkbox"/>	

軽量コンクリート

種類	設計基準強度Fc (N/mm ²)	スランプ (cm)	単位セメント量の最小値 (kg/m ³)	水セメント比の最大値 (%)	気乾単位容積質量 (t/m ³)	備考
<input checked="" type="checkbox"/> 1種	<input checked="" type="checkbox"/> 18 <input type="checkbox"/> 21	<input type="checkbox"/> 18	<input checked="" type="checkbox"/> 320	<input checked="" type="checkbox"/> 55	<input checked="" type="checkbox"/> 1.85程度	
<input type="checkbox"/> 2種	<input type="checkbox"/> 24 <input type="checkbox"/> 27	<input checked="" type="checkbox"/> 21	<input type="checkbox"/> 340	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

厚さは原則として図示とし、図示がない場合は[改3.3.5] (d) (2)とする。